1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 10 月 25 日発行　SSKU　増刊通巻第 6575 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL:03-3598-3337

http://www.wakuwakukan.net/

SSKU わくわくかん リボン便り

2019 年 11月号 No.224

シャケZoくん

??なぜリボン??

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

台風 19 号　台東区がホームレスを締め出し

市民団体　５項目の要望書

東日本に甚大な被害をもたらした台風 19 号ですが、台東区が避難所へのホームレスの人の受け入れを拒否するという、大変ショッキングな出来事が発生しました。台東区に対して申し入れを行った一般社団法人あじいるのメンバーに怒りの要望書を出すまでの顛末記を投稿していただきました。

（申し入れするあじいるの人たち）

＜10 月 12 日の事実経過＞

「一般社団法人あじいる」のメンバー5 人が、12 日の午後 1 時過ぎ、上野駅周辺（上野駅構内、文化会館周辺）のホームレスの人々に、非常食やタオル等を配ることと共に、台東区の自主避難場所で上野駅から最も近い忍岡小学校に避難するよう勧めるチラシを配布しました。もうすぐ全員に配り終えるという時、1 人の男性が、「午前 9 時ごろに行ってみたが、ことわられた。住民票が北海道にあるからといったら、ここは都民のための避難所ですと言われた」と訴えた。

小学校に出向いて区職員に確認し、その場で台東区の災害対策本部に電話をつないでもらい、真意を確かめました。すると、「台東区として、ホームレスの避難所利用は断るという決定がなされている」と明確な返答が返ってきました。

私たちは、上野駅に戻りチラシの情報は誤りだったと告げて回ると、上野駅の入り口に座っていた一人が「今さっき行ってみたけれど駄目だと言われて帰ってきた」と話した。

その後、再度台東区災害対策本部に「今後避難準備や避難勧告が出た場合も避難所は利用できないのか」と問い合わせたところ、「ホームレス（住所不定者）については、避難所は利用できないことを対策本部で決定している」との返答でした。

「人の命に優劣、切り捨て許さない」
２８団体と多数の個人連名で抗議

**＜災害対策から
ホームレスの人々を排除した件について＞**

台風 19 号が接近し、メディアではさかんに「命を守る行動を！」と呼び掛けている中、台東区災害対策本部は、ホームレスの人々(路上生活だけでなく、ネットカフェ生活など広い意味でホームレス状態にある人)を避難所には入れないという決定をしました。

今回の台東区の決定は、ホームレスの人々に対する差別、排除に基づく決定であり、行政が人の命に優劣をつけ、切り捨てていくという絶対許されない行為です。

私たちは、今回の台東区の決定に、強く抗議するとともに、以下の要望をしました。

＜台東区への要望書＞

1. 台東区は、避難所にホームレスの人々を入れないという今回の決定について、被害者に届くように、謝罪をしてください。10 月 15 日付の台東区長の出した謝罪とコメントには「避難できなかった方がおられた事」とありますが、謝罪すべきはホームレスの人たちを拒否すると決定し、受け入れなかったことです。改めて謝罪することを求めます。

（5 面下段に続く）

- ✧ 11 月 02～03 日　第 6 回生活困窮者自立支援全国研究交流集会　東北福祉大学
- ✧ 11 月 07 日（木）　発達障害のある学生の就労支援を考える
  14:00～東京新卒応援ハローワーク　出会いのフロア
- ✧ 11 月 09 日（土）　はたらっくす 16:00～ トライ・ザ・ブルースカイ 17:00～（自立訓練室）
- ✧ 11 月 12 日（火）　臨時理事会　15:00～
- ✧ 11 月 13 日（水）　あなたに伝えたい、依存症のこと　13:00～　星稜会館ホール
- ✧ 11 月 25 日（月）　現場協議会 16:30～（スカイブリッジ）

＜わくわくかん 11 月予定表＞

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 10 月 25 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6575 号

わくわく配食サービス

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

サバのみそ煮

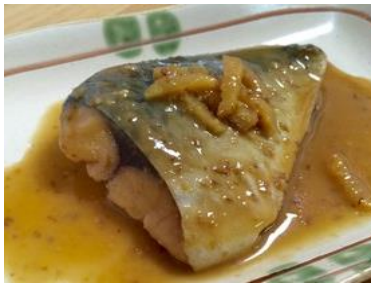
【材料】

鯖	片身 2 枚
ショウガ	2 片
味噌	大さじ 2
酒	大さじ 3
砂糖	大さじ 3
醤油	大さじ 1
水	1 カップ

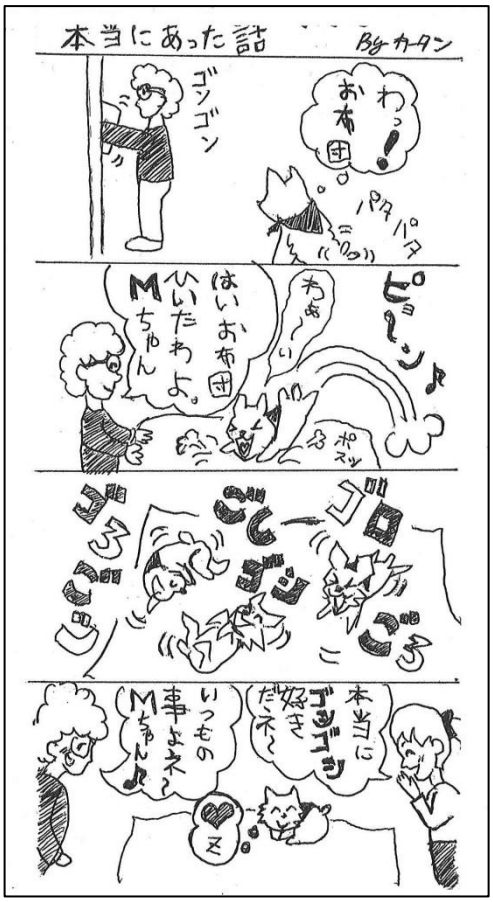
【作り方】

① 鯖はざるに切り身を入れて熱湯を回しいれます。（皮が反り返ります）
② 流水でやさしく汚れを洗い流し、キッチンペーパーで軽く水をふき取ります。
③ 鍋に水、酒、砂糖、醤油、千切りにしたショウガ、みそ半分をいれ煮立てる。
④ 煮立ったら鯖をなるべく重ならないようにそっと入れます。
⑤ 落し蓋かなければアルミホイルで落し蓋をし、弱火で 10 分煮ます。
⑥ 10 分煮たら小皿に煮汁を 7 お玉一杯分いれて残りの味噌を溶きのばす。
⑦ 溶いた味噌を鍋に入れて鍋をゆすりながら全体に味噌をなじませます。
⑧ 再び落し蓋をし、鍋のふたはせず、お好みの煮汁加減に煮詰めます。

サバのみそ煮

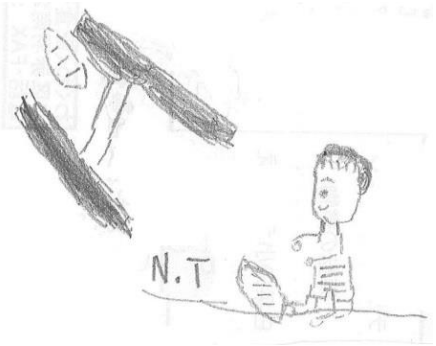


さばの旬は 10～12 月。「マサバ」は日本近海で獲れる、代表的なサバの種類。「秋さば」「寒さば」などと呼ばれるように、秋から冬にかけてが脂がのり美味しくなります。
食べ方は、焼魚や味噌煮、しめさばなど。非常に鮮度が落ちやすい魚なので、生食するには釣った直後に食べたほうがよさそうです。鯖は栄養満点な魚でも有名です。EPA　は不飽和脂肪酸の一種で悪玉コレステロールを減らし、血液をさらさらにします。ビタミンDはカルシウムの吸収をサポートし、骨や歯の健康的な発育にかかせません。ＤＨＡは脳や神経の機能を助け、記憶力向上に役立ちます。積極的に鯖を食べましょう。



福祉サービス第三者評価

ヒアリング　順調に進む



わくわく配食サービスでは、今年は３年に１回行われる第三者評価を行う年になります。外部の第三者評価機関からの働く当事者スタッフと管理者以外のスタッフ向けての説明を９月の全体ミーティングで、実施。働く当事者スタッフへの説明は、「これから利用したい方々に向けた調査でもあるため、わくわく配食サービスの良いところや逆に改善して欲しいところを教えて欲しい。当事者スタッフがわくわく配食サービスをどう評価しているかを聞き取らせて欲しい。皆さんを評価するためではない。」スタッフへは、「わくわく配食サービスの事業所への評価であり、スタッフ各人が出来ているいないという評価ではない」という説明でした。

スタッフは、書面での回答ですが働く当事者スタッフは 10 月の初旬に３日間かけて対面によりお一人、お一人聞き取りが行われました。皆さんのご協力があり、ここまではとてもスムーズに進んでいます。まだ、終了していないのが管理者の行う書面でのわくわく配食サービスでのサービス内容や実施状況、理念や方向性、良い点、改善点と様々な設問があります。管理者の書面の提出の後は、現地での調査になります。書類の閲覧と管理者との対面での質疑応答でほぼ１日かかります。

すべての評価が終了すると文章が作成され、結果の説明会が配食サービスで行われ、インターネットで結果を閲覧できる様になります。これから、利用したい方々への参考になります。管理者への設問内容は、障害福祉サービスを実施する上で守ることが義務づけられている内容になります。例えば個人情報は、どのような説明をしどの様な書面での契約をしどの様に実施されているかの記述と外部の機関へ理解される様な証拠になる様な書類などの閲覧が必要です。

第三者評価は、福祉サービスの向上目的のためにも実施されています。上記の様な設問を見てもわかる様に、国が決めた基準を意識しながら運営をしていく必要があります。あまりにも、基準を満たしていないという評価がくだれば運営が難しくなる場合もあります。働く場所でもあり、かつ福祉サービスを提供する場所でもあり、公のお金が収入として入る以上は避けられない評価だとも感じています。

少し、ぼやかせて貰えればなかなか通常の業務でもいっぱい、いっぱいの中負担がかかる状況であり日々配食サービスの安定した運営のためにもスタッフ体制の充実を望みたいところです。

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 10 月 25 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6575 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

外出～秋葉原

王子駅→秋葉原に向かい、最初はランチを食べたいという事でサイゼリアにみんなで入りました。その後、各々秋葉原で自由な時間を過ごしました。私はゲーセンに入り、体感ゲームをしました。メンバーの H さんと真剣に対戦しました。H さんは強かったです（笑）次に私は集合時間ギリギリまで UFO キャッチャーにハマりました。しかし…get できず……。でも、とても楽しく過ごせたと思います。（F）

＜音楽プログラム＞

＜カラオケ＞音楽プログラムの中に、前半、カラオケを歌うものがあります。センター3F の音楽室に立派な「レーザーディスク」カラオケの設備があり、それを使用します。ただ「レーザーディスク」のため、収録されている曲がせいぜい 90 年代。若いメンバーだと、知っている曲が無い！他のメンバーも、歌える曲を探すのに、毎回苦労する状態です。でも、一度曲が始まると、皆さんノリノリで歌っています。（S.M）

＜ハンドベル＞音楽プログラムの後半はハンドベルの練習をしています。現在は、今月産休から復帰される、スタッフ K さんに披露する「上を向いて歩こう」と「君をのせて」をスパルタ練習中です。8 拍 50 小節ある曲を、集中してハンドベルを演奏するのは大変です。しかし、小節だけをスタッフが数え、拍数はそれぞれ個人が把握してハンドベルを演奏できるレベルにしようとする、響のスタッフが、どこを目指しているのかは、利用者の私は？です…。（K.T）

＜収穫祭＝納涼祭＞

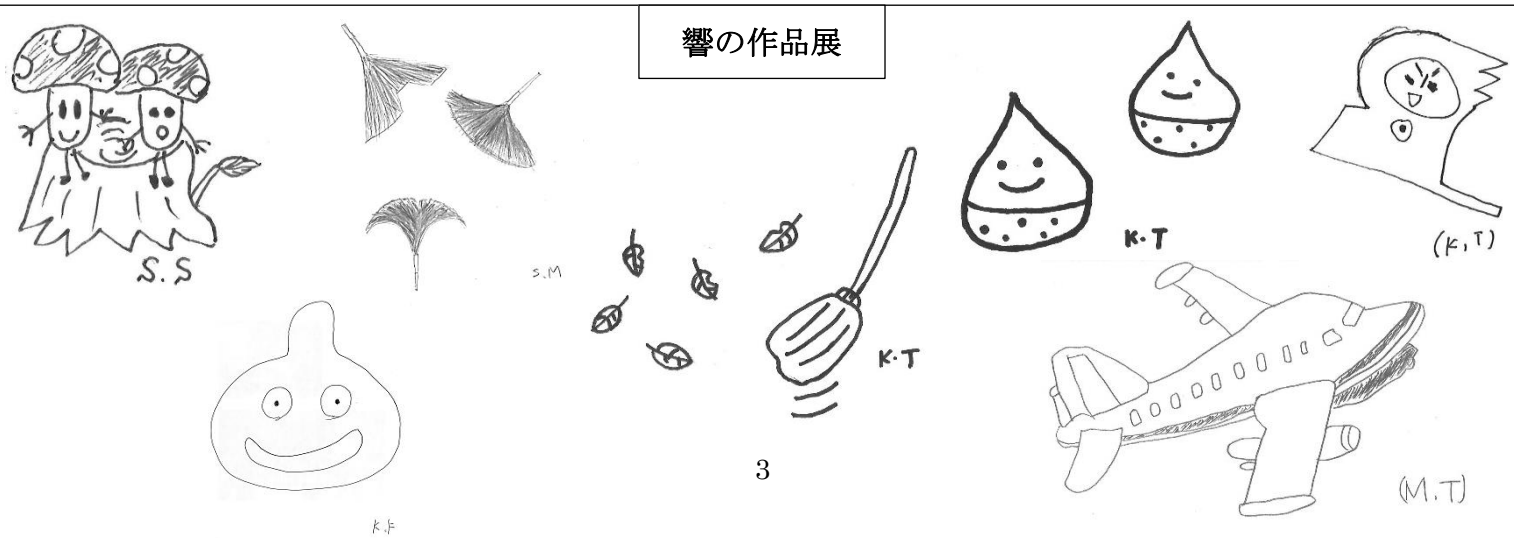
＜収穫祭①準備＞９月 20 日（金）収穫（納涼）祭がありました。午前に料理を作ったのですが、メンバーH さんがお休みの上に、スタッフ K さんまでも急用でお休みとの事。みんなの口から「マジで～!?」との声。最初はどうなる事かと思いましたが、思いのほかスムーズに出来あがり、午後の収穫（納涼）祭をむかえられました。（S.S）

＜納涼祭②午後＞午後はクイズやビンゴなどゲームをしました。クイズの方は２択クイズが 19 問ありました。４つのグループに分かれチーム対抗戦。ぼくらのチームは最下位タイとなってしまいましたが、楽しかったです。ビンゴの方は個人戦で最初の５人までが特別な賞品をもらえ、他の人は参加賞でうまい棒１本でした。ぼくは参加賞しかもらえませんでしたが、ビンゴもクイズと同様に盛り上がりました。（M.T）

＜スポーツセンター＞

9/3（火）東京都障害者総合スポーツセンターに見学に行きました。いつも行きなれている所ですが会員証を作るというコトで話をききつつ見学しました。
プールを見ながら T さんはいないのかなーって言いながら運動場やトレーニング室などを見学。私はプールが運動になっていいなーって思いました。最後は会員証をもらって見学は終了しました。
（K. T）

響の作品展



1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 10 月 25 日発行 SSKU 増刊通巻第 6575 号

就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032 東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター４Ｆ Tel：03-5963-6888

納涼祭 改め “収穫祭”

～響＆リボーンのコラボ交流～

９月 20 日（金）の午後に納涼祭が行われました。多機能事業所であるリボーンプロジェクトとボランティア響会の交流を目的として、毎年秋に行われています。第４回目の今回も、食事にゲームにと大いに盛り上がりました。

午前中は会場の準備と食事の準備です。リボーンでは貼り紙の作成や会場設営、響では食事の準備に大忙しでした。保存食のご飯、焼きそば、チキンと野菜のソテー（カレーソース）、かぼちゃサラダなどが用意されました。
４つのテーブルにくじ引きで分かれて座り、まずは副理事長の堀会長から開会の言葉をいただきました。最初は緊張気味だった参加者も、おいしい食事に自然と笑顔になり、会話も増えていきました。顔は知っているけれども話したことがないというメンバーとも話す機会になったようです。

続いては恒例となりつつある、スタッフにまつわるクイズ大会です。チーム戦なので、テーブルごとに頭を悩ませながら答えを出します。スタッフの意外な一面に驚いたり、大笑いしながらも、どのチームも正解率が高く、接戦となりました。さらにビンゴ大会でも盛り上がり、最後は「リボン便り」編集長の閉会の言葉と三本締めで閉会となりました。

過ぎゆく夏を惜しむということで「納涼祭」としていましたが、堀会長より「もう９月なんだし、これは“収穫祭”だよ！」という発言がありました。
確かに夏の疲れをねぎらうというよりは、おいしい食事と仲間との会話を楽しむという充実した内容は、まさに“収穫”と言えるかもしれません。というわけで、来年からは「収穫祭」として、また楽しいひとときを過ごせたらと思います。

＜日々の業務訓練紹介＞

パンフレットの発送作業

リボーンプロジェクトの訓練業務のひとつ「パンフレットの発送」を紹介します。
私たちは日々、リボーンプロジェクトという就労移行支援事業所を色々な関係機関の方にも知ってもらおうと、この「りぼん便り」に併せて、リボーンプロジェクトとボランティア響会のパンフレットを同封して郵送しています。実はこの発送業務は、訓練生のみなさんの協力のもと発送しているのです。

一見、単純に聞こえるかもしれませんが、非常に多くの工程を経て、郵便局に持って行くことが出来ます。
まず、パンフレットを印刷し、それをひたすら折る。送付状も、りぼん便りも三つ折りにする。のり付けし、切手を貼る。ともかく、それぞれの枚数が多い大変な作業で、折り方ひとつをとっても、事業所の性格が出るし、ひとりの訓練生の方は「パンフレットはその施設の顔になるんだ。丁寧に折らないと」と、士気を高めてくれている場面もありました。

みんなで、雑談を交えながら作業する事もありますが、その雑談の内容の多くは、今行なっている作業のコツであったり、作業のやりがいについてであったりすることが多いのです。
訓練生同士の雑談の中に、作業上達のヒントがあるというのは、教科書には載っていない重要な事だと思います。

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 10 月 25 発行　SSKU　増刊通巻第 6575 号

施設対抗歌合戦で準優勝！

配食、響、OB・OG で 4 曲熱唱

北精連（ほくせいれん）こと北区精神障害支援施設連合が主催している施設対抗歌合戦年が 10 月 18 日、開催されました。今年は 7 団体が出場し、24 曲が披露されました。場所は赤羽会館ホール、お立ち台のようなステージがあり立派な照明もありました。北精連の世話人と呼ばれる担当者が数か月もまえから話し合いを重ね、会場準備をしてくださっていたおかげです。

われわれわくわくかんからは 4 曲の出場がありました。トップバッターは就労相談に登録してくださっている Y さんが歌うディーンフジオカの曲。とてもしっとりとした曲で会場がしんと静まり返るようでした。

次は配食サービスから K さんと N さんのデュエットでアニメ、北斗の拳のテーマです。
女性の N さんがシャウトを決めると会場は一気に盛り上がりました。お二人はあかばね就労開拓校からの友人だそうで、毎年この歌合戦に参加している常連さんです。

熱唱する F さん

響きからは F さんが出場しました。大会ぎりぎりまでカラオケボックスで練習を重ね、優勝を狙っていた F さん。素晴らしい声量で会場を盛り上げていました。

次に出場してくださったのは、わくわくかんの OB、OG の 3 人グループ。H２O の「思い出がいっぱい」を歌ってくださいました。小柄な R さんが持ち抱えてやってきた小道具には「アルバム」と書かれており、観覧席の皆さんが中身が気になる状況で最後まで元気に歌い上げました。最後にばばーんとアルバムを開いてくださいました。そこにはスタッフへの「おめでとう！！」の文字とイラストが！

産休・育児休暇のスタッフ K の赤ちゃん誕生を思いきりお祝いしてくださるサプライズでした。**（写真参照）**

結果発表は、優勝はいつも仲良くしてくださっている支援センターきらきらさんがトロフィーをゲット。わくわくかんは惜しくも準優勝となりました。他施設の勝負曲のすべてが元気いっぱい、楽しい歌合戦となりました。

少し裏話をすると、今年の北精連の世話人（担当スタッフ）は、今まで担当していた慣れたメンバーががらりと変わり、歌合戦の計画準備が初めて、中には歌合戦自体、見たことがなかったというメンバーが多く、準備や計画がなかなか大変でした。わからないことはその都度、メールで聞いたり、前の世話人に問い合わせをしたり。たくさんの協力があってこその手づくり歌合戦となりました。皆様に感謝！今後も楽しく続けていきたいイベントですね！

（台東区役所へ要望　１面から続く）

2. 台東区は、命にかかわる緊急時においては、災害対策基本法の基本理念「人の生命及び身体を最も優先して保護すること」に遺漏がないようその責任を果たしてください。
3. これからの災害対策において、当事者並びに支援団体の声を聞いてください。　災害大国日本と言われている中で、これまでにない事態に遭遇した時どう対処していくのか、これは今後の大きな課題です。特に都市部においては、多様な立場の人々がより多く存在していることを考えると、行政のみで対策を考えることには到底無理があります。ホームレス状態の人々のみではなく、社会的弱者と言われる人々の人権をしっかり守っていくためにも、当事者からの生の声を聞くことは不可欠です。
4. ホームレスの人たちに関わる生活保護行政、教育行政（ホームレスの人たちへの襲撃事件をなくすための授業の実施を含む）、人権行政などの日常業務が適切であったかどうかを全庁的に検証し、改善策を講じてください。また、ホームレスの人たちの人権に関する職員研修を定期的に実施し、幹部職員の参加を義務付けてください。
5. 以上の点について、私たちとの話し合いの場を持つことを求めます。

命にかかわる話し合いの場を！

1998年10月9日　第三種郵便物認可　（毎月3回8の日発行）
2019年10月25日発行　SSKU　増刊通巻第6575号

16歳のスウェーデンの環境活動家・グレタ・トゥンベリさん

大人たちは空虚な言葉で私の夢を奪った

あなた達は空虚な言葉で私の夢を、子供時代を奪った。人々は苦しみ、死んでいる。全てのエコシステムは崩壊に向かっている。絶望が始まっているにも関わらず、あなた方が話すことは全てお金のことと、永遠に続く経済成長のおとぎ話のことのみ。一体どうしてそんなことが言えるのでしょう？

ニューヨークの国連本部で「国連気候行動サミット2019」

SDGsと社会的連帯経済

発会式で柳澤明大教授が記念講演

「ソウル宣言の会」6年間の活動を踏まえた新たな出発「社会的連帯経済を推進する会」の発足集会が、10月14日、明治大学駿河台キャンパスで開かれた。柳澤敏勝明大教授（元日本協同組合学会長）の基調講演「SDGsと社会的連帯経済の役割」についてズームインしてみたい。

2015年9月の国連総会決議として「私たちの世界を変える」持続可能な開発のためのアジェンダが、17の目標と169の具体的目標を掲げて決議された。

最大の目標が貧困の撲滅であり「だれ一人取り残さない」と明言しているが、SDGsの担い手はいったい誰なのか？民間セクターの役割重視というが、「零細企業から協同組合、多国籍企業まで、また市民社会組織、慈善組織」とされている。疑問は、なぜ協同組合あるいは市民組織・慈善組織のみが名指しで登場するのかである。2030アジェンダだけではわからない。

国際社会的連帯経済タスクフォース（TFSSE）の役割

そのヒントは、2013年の国際社会的連帯経済タスクフォース（TFSSE）の役割が大きい。メンバーはILO、ユネスコ、WHO、FAOなどの20の国連機関とICA、RIPESE、モンブラン会議の3つの国際NGOで構成され、その目的は、国際的な学会や政策の世界でSSE（社会的連帯経済）の認知度の向上、となっている。

タスクフォースのポジション・ペーパーの認識によれば、21世紀初頭、社会的連帯経済は、8領域（人間らしい労働・環境・地域開発・都市と人間生活・女性・食料安全保障・健康・金融）で重要な役割を果たすとしている。

地球上で金融危機や気候の変動、貧困、不平等の拡大が続き、従来の成長開発戦略が根本から疑問視されるようになった。つまり「これまで通りの普通のビジネス」では対応できないという認識がそこにはある。

タスクフォースのいう社会的連帯経済には3つのポイントがある。

①社会的に有用な明確な目的を持ち、環境保護目的を合わせ持つことも多い様々な組織や事業体の財やサービスの生産に適用されるのがSSE。

②SSE組織を導いているのは、協同、連帯、倫理、民主的自主管理などの原則や実践。

③SSEに含まれるのは協同組合であり、またその他として社会的企業、自助グループ、コミュニティを基盤とする組織、インフォーマル経済で働く労働者の団体、サービス供給型のNGO、連帯金融など。

ここには、社会的連帯経済とは、脱グローバル自由主義的経済のことであり、SSEの領域に含まれる典型は多様な協同組合ということになる。

21世紀初頭の社会の持続可能な社会開発の核、それがSSEの意義・役割という。

2030アジェンダの中に登場する協同組合、市民社会組織、慈善組織をSSEの象徴だと理解すれば腑に落ちる。2030アジェンダが言うSDGsの担い手は民間セクターであり、それは主として非営利分野であり社会的連帯経済(SSE)だというわけです。

それは次の言辞をもっても追認できる。

SSEの特色は、「ここ数十年の間支配的であった利潤極大化アプローチでかつ企業主導型も多いアプローチとは対照的な開発モデルを指し示している。成長の恩恵がトリプルダウンするであろうことを…想定するよりも、むしろSSEは、人々にとって不可欠のニーズに応じる包摂的なやり方で、先取り的に資源や剰余を動員し再分配しようとしている。」

ところで安倍首相は、国連総会で、日本が重視してきた要素を中核に据えた2030アジェンダの採択を歓迎した演説をおこなった。

柳澤教授は言う。「待機児童問題、教育への公費投入、OECD加盟国中最低、40%を超えんとする非正規雇用（女性だけをみれば55%）、働き方改革、原発再稼働、TPP、憲法改正の動きや安保法制などを考慮すれば、国民の望みとは真逆の8分野を軽視してきたのであり、国際社会の動きとは逆向きの演説である」と批判した。

なぜなら、社会的連帯経済（SSE）の保護育成が国際的な流れなのであり、日本は実際の動きは真逆になっている。しかし、首相が最大限努力していく旨を述べた以上、国際公約になったことは重要であると指摘した。

(H.K)

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 10 月 25 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6575 号

共同連「演劇祭」3 者 3 様の大熱演

共同連全国大会「演劇祭」は９月 13 日、ソーネおおぞねのホールで開かれた。団地前ではわっぱちんどん屋がレトロなおはやしで前宣伝、会場では桑茶と桑パンがふるまわれた。

①

最初に登場したのは東京・国立市のライフステーションワンステップかたつむりの『星の王子さま』①。それに今回、参議院選挙で当選した重度障害者木村栄子さんの自立生活ステーションつばさが加わったお人数の舞台。「車椅子の人が常識の車椅子星」や「うぬぼれのスターがいるスター星」なとを自由を求める王子が周り、差別や平和について大切なものに気づいていく物語。歌やダンス、映像や衣装にも工夫の楽しい舞台でした。1970 年代、東京都庁前の座り込み闘争を担った重度障害者三井絹子さんも赤いバラの主役で元気に登場の舞台に大きな拍手がわきました。

次は滋賀県・大津市の社会福祉法人共生カンパニー　まちプロー座の『バリアフリー探偵・レン』②2003 年から障がい者演劇集団として活動。第 1 話「なにが可哀想やねん！事件簿」と第 2 話「ちゃんと人の話は聞いてるの！事件簿」で、見た目だけではわからない、言語障がい者の話を聞いてわかったふりをしてしまうのかを、座長・小石哲也の手話歌 2 曲を交えての熱演だった。

最後は、大阪・河内長野市の共働事業所　かすみ荘の『サイボーク戦士』③。2005 年に劇団を創り各地で公演。重度の身体障害の人たちの「地域で普通に暮らしたい、お金を稼ぎたい」という思いから出発。劇は石森正太郎の原作からみちのしげのぶ脚本、日比初子演出で演じられた。巨大隕石、地球に直撃か？を思いっきり奇抜な衣装で地球最強のヒーローサイボーク戦士で迎え撃つ。コミックに演じて会場を沸かせた。

（T．K）

演劇祭感想　生きざまを生き生きと

東京の「かたつむり」の『星の王子様』の素晴らしい舞台については前号に書かせてもらった。

次は滋賀の「社会福祉法人共生シンフォニーまちプロー座」で「バリアフリー探偵・レン」②を見た。車椅子の探偵レンとその執事のポチの探偵事務所に車椅子の相談者が問題を解決してもらうためにやってくるというものだった。2 組の車椅子の相談者が来て、一人目は町で映画をヘルパーと観に行った帰りに、見ず知らずの女性たちに「かわいそう」と言われ、お金まで渡そうとするのは「なんでやねん」という話。仕事も誇りをもってやっていて、自分は少しもかわいそうの存在ではないという主張がなされていた。

二人目は、言語障がいのきつい車椅子の男性で、大学生の研修生が自分の話を適当に聞き流して、わかったふりをするのがおかしいという話だった。それぞれ女性のこれまた車椅子の探偵レンが心のバリアフリーと言って解決するのだった。

②

また、車椅子の男性がダンスは踊れないが、手や腕を使って音楽に合わせてパフォーマンスしたのが印象的だった。障がいを持っていても自分たちのできる範囲で元気に表現活動をする姿はとてもすばらしかった。

三つ目の団体は大阪の「共働事業所かすみ荘」で「サイボーグ戦士」③だった。特に障がいをテーマにした劇ではなく、隕石が悪者達によって地球に衝突させる陰謀を、地球の研究所のサイボーグヒーロー三人組によって阻止するというストーリーだった。

③

隕石は実は宇宙怪獣の卵で破壊すると、中から巨大な宇宙怪獣が出現して、地球をかじってしまうのでこれもサイボーグヒーローが倒すという物語だった。ナンセンスだったが、障がいの人が混じっていて、演技していると、面白いというか、笑ってよいのかシリアスなのかちょっと迷った。演劇が終わると手話ダンスの男女二人組が登場して、手話ダンスを披露していった。　（A.H）

現場からの報告（27）

台風第 19 号の配食の一日

先日の台風では、国内各所で大きな被害が出ました。このたびの台風１９号の被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

お弁当を待っていてくれるお客様のため、わくわく配食サービスは台風に備えたシフトで営業しました。

近隣の方を中心に、本来土曜日にシフトが入ってない方々にも来てもらい、頭が下がる思いです。

公共交通機関の運休時間が迫る中、何とか業務を終えてみんな無事に帰ることができました。

被災された皆様が、一日も早く平常の生活に戻ることができますようお祈り申し上げます。

（U.O）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 10 月 25 日発行 SSKU 増刊通巻第 6575 号

投稿

介護の在り方

当たり前なんだが、介護と言っても色々な介護が存在する。勿論介護する人の気持ちもそれぞれに存在する。

私は、この介護を私の人生の体験から長年の復讐のために使おうとしていた。人から見れば親孝行になるだろうが、私にはそれが一番の復讐だと思っていた。今もそう思っている。ただ残念な事にもうその相手はいない。だから正確には復讐計画だった。

私は『介護記』の大分に住むNさんの冊子を読んで、凄いなと感心したのは、どこまでも母親の気持に寄り添っていると言う事だ。どんな時も母親抜きでは考えていない事は、本当にすごいと感じた。介護は本当に辛い。自分の気持ちだけではどうにも出来ないほど、辛い。これはどちらにも言えると思うが、介護される人もする人も辛い。

もう一つ凄いなって思ったのは、判断力。これはきっと介護する上で、いつか必ず出てくる問題なのかもしれないと思う。一つ判断しただけで間違いも起こるし、正解もある。でもどんな時もその決断力がないと、自分も介護されている方も辛い。この方はその決断力があったのだと思う。そして上手くちゃんと出来ている。

私は介護する側が楽しくてもいいと思っている。無理に家族だからとか、恥ずかしいからとか、無理やり家族で介護ってそんなものは背負わなくていいと思っている。出来るならすればいいけれど。施設に預けてもいいだろうし、使えるものは使っていい。その為の支援者だったりするわけだし。

でも楽するなら、この人のように母親に寄り添ってと言うか、介護される人に寄り添ってくれたらなって思う。介護とは寄り添っていくべきものだと思うから。それだけで大分違うだろうなって思う。

正解のない介護だけれど、心と心が寄り添い生きていく事が私には大切な事なんだと思う。私もこのように思える介護を母親に出来ていたら良かったな思う。

（K.T）

就労支援センター北わくわくかん

登録者（2019年９月末）875 名
就職者　３名（事務２、清掃１）

先月　ご協力いただいた皆様

東京都労働局・東京都精神保健福祉民間団体協議会・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハローワーク王子・池袋・飯田橋・東京障害者職業センター・東京しごと財団・東京都立精神保健福祉センター・東京都立王子特別支援学校・北区社会福祉協議会・北区教育委員会・津久井やまゆり園事件を考え続ける会・部落解放同盟神奈川県連合会横浜市協議会・東京ワーカーズコレクティブ協同組合・NPO 法人ゆめ風基金・あしたや共働企画・特定非営利活動法人のらんど・社会的企業研究会・企業組合あうん・ワーカーズコレクティブ協会・ともっと事業体・シャロームの家・NPO 法人太陽と緑の会・認定ＮＰＯ法人やまぼうし・エルコープ協同組合運動研究会等、お世話になりました。

グループホームわくわくかん

4 名定員中、2 名の方が入居中です。２人でルームシェア感覚できる共用タイプは、どうしても単身アパートタイプより人気が落ちてしまい、毎回空きが長く続いてしまいます。今回も 10 月から空いてしまい、どうなる事かと思っていた矢先、単身タイプをご希望の見学者が「自分は生活リズムを整えたいので、単身タイプより共用が良いと思う。」他、世話人が「入院中だと早く退院したいですよね。」と伺うと「自分は病状が安定して外出が増えて、そうなると外出できない他の入院中の人がつらいと思う。」との言葉が。女神降臨！とても社会性と思いやりにあふれた素敵な女性が見学に来てくれました。

▼編集後記▼

福島から京都へ幼稚園留学という試みがある。ミンナソラノシタというユニークな運動だ。昨年、5 人の女の子が京都市の洛西花園幼稚園にやってきた。福島・郡山では原発事故で、外遊びは 30 分以内と制限されている。「福島の親子に、思い切り外遊びをしてもらおう」と京都のママでつくる団体ミンナソラがオルジナルグッズの販売や企業の支援で資金を集めた。3 週間、母子でやってきた 5 歳の灯里ちゃんがパパに「晴れた日はお外でお昼ごはんをみんなで食べるんだよ」と日記に書く。この試みを支えているのが生活クラブエルコープとコープ自然派の生協組合員の活動。9 月の今年の報告に続いて 10 月には「保養留学」というテーマで医師の菅谷昭さんの話がある。

発行所　郵便番号 157-0073　東京都世田谷区砧 6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価 100 円（会費に含む）